

岩永 博人

課題解決策

様々な課題に直面している中で、特に長時間の夜間勤務に焦点を当て、リモート勤務による監視業務の評価・検証を行いました。

- ・リモート勤務導入
- ・AI(機械学習)、RPA、その他ツールの活用

課題解決に向けたリモート勤務の導入提案

長時間夜勤の改善：リモート勤務による柔軟な勤務形態に移行

-
- 現状
- | | 9:00-17:30 | 17:00-09:30 | 9:00-17:30 | 17:00-09:30 |
|------|------------|-------------|------------|-------------|
| チーム1 | 日勤 | | | |
| チーム2 | | 夜勤 | | |
| チーム3 | | | 日勤 | |
| チーム4 | | | | 夜勤 |
| チーム5 | | | | 夜勤 |
- リモート勤務の導入 -> 長時間夜勤の解消
- 今後(案)
- | | 9:00-17:30 | 17:00-01:30 | 01:00-09:30 | 9:00-17:30 | 17:00-01:30 | 01:00-09:30 |
|------|------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|
| チーム1 | 日勤 | | | | | 夜勤 |
| チーム2 | | 夜勤 | | | | |
| チーム3 | | | 夜勤 | | | |
| チーム4 | | | | 日勤 | | |
| チーム5 | | | | | 夜勤 | |

SDG3 : だれもが健康で幸せな生活を送れるようにしよう

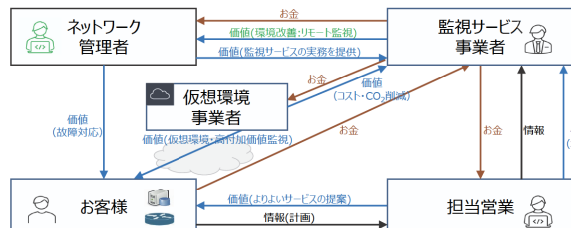
課題と解決案をフレームワークを活用して検証

ネットワーク管理者の長時間夜勤の検証、評価を行い、リモート勤務の導入が健康的な勤務を実現できます。しかし、関連部門との連携強化やルール策定も重要であり、組織全体で継続して取り組む必要があります。

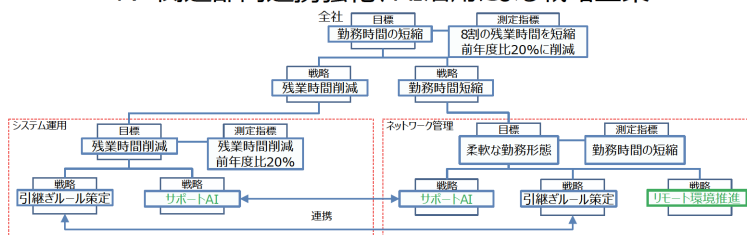
1. 長時間夜勤に対する、目標設定や解決手段を検証

	課題	目的/目標	障壁	解決手段
①担当営業	高コスト構造による低収益	コスト削減による増収増益	レガシーシステムの廃却	監視サービス仮想化
②監視事業者	環境負荷低減 (CO ₂ 削減)	持続可能な社会への貢献	人材不足	仮想PC化による物理PCの廃止
③ネットワーク管理者	長時間夜勤 夜勤後の残業	勤務時間の短縮 残業時間の削減	深夜の公共交通機関	・リモートワーク ・深夜のタクシー利用
④お客様	長時間の故障	故障時間の短縮	最新技術の追跡や適用	・機械学習、RPA活用等

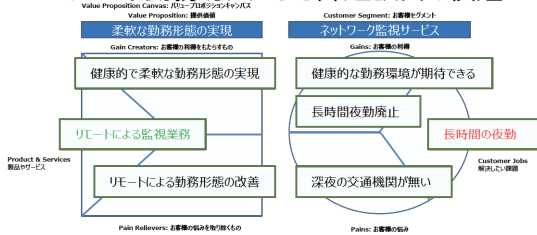
2. 管理者のワークライフバランス向上の検証



4. 関連部門連携強化、AI活用による戦略立案



3. リモート勤務導入による課題改善の検証



スマートエスイー：スマートシステム＆サービスおよびDX推進を担う人材の産学連携育成